



すぎこ 杉っ子

令和7年5月 8日 発行
学校だより 第2号
射水市立小杉小学校
TEL 0766-55-1055
E-mail kosugi-e@imizu.ed.jp

人と人をつなぐもの

～コミュニケーションの基礎「あいさつ」～

校長 杉 高 浩

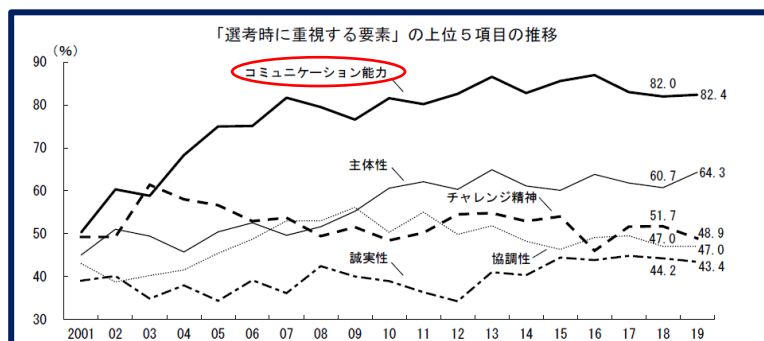
朝、児童玄関前で生徒指導主事の前教諭が「おはようございます」と声を掛けながら、子供たちを迎えています。多くの子供たちは、その前教諭のあいさつに、元気よく「おはようございます」と返事を返したり、前教諭のあいさつより先に自分から挨拶をしたりしています。

昨年度は「笑顔・あいさつ・思いやり」を目指して学校づくりを行い、子供たちには「あいさつの基本」として、**あ**かるいあいさつ、**い**つもするあいさつ、**さ**きにするあいさつ、**こ**づけるあいさつ を呼びかけてきました。この4つのポイントを意識してあ

いさつができる子供たちが徐々に増え、あいさつが響く学校に近付いてきたのかなと思います。

あいさつは、「相手のことをちゃんと認めています」というサインであり、相手の気持ちを一瞬で明るくさせる「魔法のことば」でもあります。そして何より、よりよい人間関係を築く大切なコミュニケーションの一つです。

日本経団連が2018年度まで実施していた「新卒採用に関するアンケート調査」の「選考時に重視する要素」の結果（右図）によると、それまでの16年間連続して「コミュニケーション能力」が1位となっています。小学校段階だけでなく、子供たちにとっては、予測困難な今後の未来を乗り越えて行くためには、とても大切になってくる資質・能力の一つだと考えています。



子供たちにとって、コミュニケーションの最も基礎的な場となるのは、それぞれのご家庭だと思います。「おはよう、おやすみ」、「いただきます、ごちそうさま」、「いってきます、ただいま」など、様々なあいさつの機会があります。学校と家庭とで手を取り合って、コミュニケーションの力の最も基礎となるあいさつがしっかりとできる子供たちにしていきたいと思います。

教育は、「**家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、社会の教えで実を結ぶ**」ということを聞いたことがあります。子供たちの健やかな成長という共通の目標に向かって、コミュニティ・スクールの機能も十分に働かせながら、家庭、学校、社会それぞれの責任を果たしていきたいと思います。

学習参観・学級懇談

4月25日(金)の1限に1～3年生の学習参観、2限に学級懇談会、3限に4～6年生の学習参観を行いました。少し強い風の吹く一日でしたが、1限と3限に分けて参観を行ったことで、大きな混乱もなく、多くの保護者の方にお子様の学習の様子を参観いただくことができました。

合わせて、保育園・幼稚園・こども園の先生方にもご参観いただき、今後の幼児教育施設と小学校の接続の計画を立てたり、子供たちの成長ぶりについて共通理解を行ったりする1回目の「架け橋ミーティング」も行い、今年度の見通しを立てることができました。



引き渡し訓練

4月25日(金)

ありがとうございました

大きな自然災害や事件、事故が発生した場合、学校は保護者の皆様へ児童を安全に引き渡し、保護者は児童を学校へ引き取りに行くという状況が考えられます。このような緊急時に、より安全、確実に引き渡し、引き取りが行われるよう訓練を実施しました。



学習参観、学級懇談会の午後でお疲れのところでしたが、どの家庭も時間内に迎えに来ていただき、スムーズに引き渡すことができました。ご協力ありがとうございました。

これからも児童の安全やスムーズな学校運営のために「あんしんメール」を活用し、情報を流していきますので、日々の確認をお願いします。



交通安全教室を開催



5月1日(木)に射水警察署、市生活安全課、地域の交通安全協会の協力を得ながら、交通安全教室を行いました。1、2年生は警察や交通安全協会の方と実際に道路を歩き、信号の見方や横断歩道の渡り方の指導を受けました。3年生はグラウンドに設けたコースを実際に運転し、安全で正しい自転車の乗り方を生活安全課や交通安全協会の方から教わりました。また、4～6年生は教室で自転車事故の防止に関するDVDを視聴し、全校で交通安全について学習しました。

